

食品中に含まれる放射性物質に関する リスクコミュニケーションについて

1. 風評払拭・リスコミ強化戦略を踏まえた強化・改訂等
2. 令和元年度の消費者庁の取組実績と今後の取組について

令和元年11月
消費者庁

1. 風評払拭・リスコミ強化戦略を踏まえた強化・改訂等

1. 知ってもらう（4）⑤これまでに蓄積されたデータの継続的・効果的な発信

- 消費者庁ウェブサイト「食品安全に関する総合情報サイト」に、放射性物質のページを作成（H30年3月）。
⇒食品中の放射性物質の安全性確保の取組を簡単に紹介するとともに検査データも掲載。より詳細なデータを知りたい場合には、そのリンク先を紹介するページとなっている。



【食品と放射能 Q & A】

2. 食べてもらう（3）②国内に向けた情報発信

- 「食品と放射能 Q & A」「食品と放射能 Q & A ミニ」の改訂（R 1年6月）。
⇒放射性物質の基準値の国際比較や検査結果等に関して、最新の情報に改訂。

- 「食品と放射能 Q & A ミニ」の英語版、中国語版、韓国語版を作成（H30年5月）。
⇒訪日外国人や在留外国人にも、食品中の放射性物質に関する正確な情報が伝えることを目的として作成。

【食品と放射能 Q & A ミニ、翻訳版】



2. 令和元年度の消費者庁の取組実績と今後の取組について

実績（令和元年9月末現在）

〔R1年度予算額：35百万円の内数〕

● 関係府省や地方公共団体等と連携したシンポジウム・セミナー等の開催

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
開催数(回)	45	175	99	99	100	100	108	136	40	902
うち福島県内での回数	5	73	68	86	88	89	77	89	17	592

● 「食品と放射能Q & A」約91万冊及び「食品と放射能Q & A ミニ」約12万冊の配布（これまでの累計）

● 関係府省と連携した親子参加型イベント・セミナー等の開催

- ・全国3会場（京都府、東京都、宮城県）親子参加型イベントに出展。
小学生やその保護者を対象に、特設ステージ等にて「知ろう！考えよう！親子で学ぶ、食品中の放射性物質」をテーマにイベントを実施。
（令和元年度セミナー参加者約1,400人、ステージイベント参加者約400人）



【親子参加型イベントの様子】

● 関係府省と連携した意見交換会の開催

- ・10月21日 仙台 ・11月 8日 福岡
- ・11月22日 京都 ・11月27日 東京



今後の取組

- 関係府省と連携した意見交換会や親子参加型イベントの実施、福島県と共催する「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業や、地方公共団体によるリスクコミュニケーションの支援等に取り組む。
- 消費者意識の実態調査を踏まえ、より分かりやすい情報発信に努める。
- 食品の安全確保の基本的な考え方※の普及に努め、消費者の理解増進に努める。

〔※食品安全は量の問題であり、ゼロリスクはないこと。
食品には様々な危害要因があり、そのうちの一つとして放射性物質があること等〕